

我が愛する古河は

風の街 歴史の街である

多くの先人たちが疾風のごとく

かけぬけた街である

古河公方

足利成氏 (1455 ~ 1582) 五代 128 年間、関東の約半分を掌握する

土井利勝 (1573 ~ 1644) 徳川幕府初代大老として約 300 年の泰平の時代を築く

土井利位 (1790 ~ 1848) 雪の結晶を研究し雪華図説を刊行する

鷹見泉石 (1785 ~ 1858) 日本における蘭学の祖

田中正造 (1841 ~ 1914) 憂国の義人、足尾鉍毒公害を告発する

雪華について

現在では雪を見るのも珍しい古河において、第十一代

古河藩主土井利位は、顕微鏡を使って、日本で

最初に雪の結晶を観察し、その結晶図と研究を

「雪華図説」天保三年（一八三三年）刊

「続雪華図説」天保十一年（一八四〇年）刊

として出版しました。

